

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5 (1)				
(2)				

第2問 (20点)

(1)

建		物	
4/ 1	前期繰越 ()	3/15	諸 口 ()
		3/31	次期繰越 ()
	<u>()</u>		<u>()</u>

建物減価償却累計額

3/15	建 物 ()	4/ 1	前期繰越 ()
3/31	次期繰越 ()	3/31	減価償却費 ()
	<u>()</u>		<u>()</u>

車 両

4/ 1	前期繰越 ()	6/20	諸 口 ()
------	----------	------	---------

車両減価償却累計額

6/20	車 両 ()	4/ 1	前期繰越 <u>1,260,000</u>
------	---------	------	-----------------------

備 品

4/ 5	() ()	4/25	() ()
		3/31	次期繰越 ()
	<u>()</u>		<u>()</u>

備品減価償却累計額

3/31	次期繰越 ()	3/31	減価償却費 ()
------	----------	------	-----------

(2)

決算整理後残高試算表

×9年3月31日

(単位:円)

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	リ ー ス 資 産	
	リ ー ス 債 務	4,500,000
	未 払 費 用	125,000
	保 険 差 益	
	減 価 償 却 費	
	研 究 開 発 費	
	支 払 リ ー ス 料	
	支 払 利 息	
	火 災 損 失	

第3問 (20点)

貸借対照表

×8年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
現 金 預 金 ()		支 払 手 形 ()	
受 取 手 形 ()		買 掛 金 ()	
売 掛 金 ()		未 払 法 人 税 等 175,000	
貸 倒 引 当 金 (△)		売 上 割 戻 引 当 金 ()	
材 料 ()		流 動 負 債 合 計 ()	
仕 掛 品 ()		固 定 負 債	
製 品 ()		長 期 借 入 金 ()	
未 収 入 金 ()		固 定 負 債 合 計 ()	
流 動 資 産 合 計 ()		負 債 合 計 ()	
II 固 定 資 産		純 資 産 の 部	
建 物 ()		I 株 主 資 本	
減 価 償 却 累 計 額 (△)		資 本 金 ()	
機 械 装 置 ()		利 益 剰 余 金	
減 価 償 却 累 計 額 (△)		利 益 準 備 金 ()	
土 地 ()		繰 越 利 益 剰 余 金 ()	
長 期 貸 付 金 ()		株 主 資 本 合 計 ()	
貸 倒 引 当 金 (△)		純 資 産 合 計 ()	
固 定 資 産 合 計 ()		負 債 及 び 純 資 産 合 計 ()	
資 産 合 計 ()			

・区分式損益計算書に表示される金額

売 上 高	¥
売上総利益	¥
当期純利益	¥

第4問 (20点)

問1

予算部門別配賦表

(単位：円)

費目	合計	製造部門		補助部門		
		第1製造部	第2製造部	修繕部	材料倉庫部	工場事務部
部門費	11,460,000	5,110,000	4,590,000	660,000	800,000	300,000
修繕部費						
材料倉庫部費						
工場事務部費						
製造部門費						

問2

製造間接費 (第1製造部)

(単位：円)

実際発生額	490,000	予定配賦額	()
予算差異	()	操業度差異	()
	()		()

製造間接費 (第2製造部)

(単位：円)

実際発生額	()	予定配賦額	()
操業度差異	()	予算差異	25,000
	()		()

第5問 (20点)

問1	直接材料費総差異	円 () 差異
	直接労務費総差異	円 () 差異
	製造間接費総差異	円 () 差異
問2	予算差異	円 () 差異
	能率差異	円 () 差異
	操業度差異	円 () 差異
問3	予算差異	円 () 差異
	能率差異	円 () 差異
	操業度差異	円 () 差異

※ () 内には、不利な差異ならば「借方」、有利な差異ならば「貸方」と記入すること。

問4	問2で計算された差異のうち [] が [] 円 変動する。
	問3で計算された差異のうち [] が [] 円 変動する。

※ [] 内には、「差異の名称」および「金額」を記入すること。